

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立 西陵中 学校

校長 森田 久

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

昨年度より四日市版コミュニティスクール（CS）の指定を受け「西陵中学校運営協議会」が発足いたしました。本校の学校づくりビジョンの柱の一つである「地域とともにある学校の構築」を推進するための大きな力となっています。

保護者や地域の方々の様々な視点からの意見を本校の教育方針や教育計画の作成に活かし、学校経営の改善を図ることで、地域に信頼される学校づくりを目指しています。



2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①地域とともにある学校

本校の運営協議会は本年度会議を4回開催しました。協議会では学校公開日には授業の様子を、体育祭・文化祭・卒業式といった行事では生徒や学校の状況を視察の上、意見交流を行っています。将来的には中学生による「地域貢献」を目指しています。まずは地域の様子を理解することを目標に、地域の抱える高齢社会問題に対し、校区内にある福祉施設の協力を得て「認知症サポーター養成講座」を実施しました。また、地域防災の担い手としての中学生を育てるために、消防署の方を講師に招き防災学習を行いました。いざ災害が起こった時に中学生の力は地域から期待されています。自助・共助ができるように、



搬送法や心臓マッサージの方法などを学びました。校内での防災学習に加え、それぞれの居住地域に出て防災訓練への参加を呼びかけました。さらに、中学生がコロナ禍でもできる地域貢献として、生徒たちが考え、地域清掃活動を行いました。



②地域や保護者との交流・協働した活動

1日の活動を全て公開する学校公開日を、今年度は土曜日に2回設け、保護者や地域関係者など多くの方に学校の様子を知っていただきました。他にもPTA総会、体育祭、文化祭といった機会にも学校公開を行ってきました。校地内の除草作業もPTAや



地域の方と生徒が協力し行うことができました。

また、学校H.P.を毎日更新し、授業の様子や授業内容、学習のポイントなどを発信しました。校長室だよりを地域の回覧板に載せ、学校を訪れる機会の少ない地域住民の方にも学校の様子を知っていただく機会を持ちました。

③子どもたちの安全安心を守る活動

昨年度より、交通安全活動推進モデル校に指定されており、生徒会が自転車の乗り方を中心に交通安全に関する学習会を主催して行うなど、登下校時に交通安全を呼びかけました。



PTAも月1回、通学路の危険個所に立っての

交通指導を行っています。また、保護者が校門に

立って登校時の生徒とふれあいの機会を持つあ

いさつ運動もおこなっています。



④“未来”をたくましくきり拓く為の活動

本校は「“未来”をたくましくきり拓く生徒の育成」を学校教育目標に掲げています。地域の未来を担う人材育成を目指した取組を行っています。校区の小学校と共に人権フォーラムを行いました。校区全体で人権



について考えていくことが、

地域の未来につながっていくと考えます。他にも地域の団体と協力して、人権標語や防災標語の活動に取り組みました。また、生徒会を中心としてシトラスリボン運動やピンクシャツ運動といった人権運動にも取り組んでいます。



コロナ禍で2年間実施できなかった職場体験学習も様々な事業所様の協力を得て実施できました。キャリア学習の一環として、地域の中に出て活躍する中学生の活動の場としました。キャリア講演会も開催し、地域で活躍する店主さんや海外に移住し、



ワイン農園を営む方、プロの和楽器演奏家などをお招きして、プロとして働く姿から職業について学び、今後の生き方につなげられるよう学習しました。社会に出るための準備として、マナー講座

やデジタルシチズンシップに関する学習にも取り組みました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- ・2年目を迎えた運営協議会ですが、地域で活躍されている皆さんに、委員になっていただき、中学校の様子を知っていただく機会が増えました。特に今年は日中の会議を増やし、生徒の活動の様子を見て頂く機会が増えたことで、より一層、活発な意見を頂くことができました。
- ・コロナ禍が続き、地域に出での活動は制限されましたが、with コロナへと徐々に移行して、講師をお招きしての活動や地域に出での活動などが増えていき、地域の中で学ぶ生徒の姿が見られました。
- ・地域の回覧板に学校長だよりを回したり、学校 H.P. を毎日更新することで学校の情報を広く発信し、学校の様子を保護者や地域に知っていただく機会を持ったことで、学校アンケートの項目は昨年度より高い評価となりました。
- ・学校全体として地域とつながる、地域の為に中学生としてできることを考える、といった姿勢が少しずつ高まってきました。来年度以降の活動につなげていきたいと考えています。

3 今後に向けて

生徒の豊かな成長を促進するための重要な方策として、未来をたくましくきり拓く生徒を育成するために、そして地域の未来を担う人材を育成するために、コミュニティスクールに取り組みます。その為に、先進校の取組も参考にして、この地域に合った、この地域に根差した、西陵中学校独自のスタイルを確立していくために、今後も委員の皆様のご協力を頂きながら、取組を前進させていきます。

